



















11月 ピッコロだより



【11月の活動】 時間について／仕事について／ピッコロでやりたいこと

月	火	水	木	金	土
※中学生の活動 ・11/11(土)ピッコロでやりたいこと partⅡ （ボードゲーム） ・11/25(土)ピッコロでやりたいこと partⅢ （馬との触れ合い：シュバル）		1 めざせ！ タイムマスター 	2 めざせ！ タイムマスター 	3 文化の日 	4 めざせ！ タイムマスター 
6 めざせ！ タイムマスター 	7 めざせ！ タイムマスター 	8 協力！ タイムマスター 	9 協力！ タイムマスター 	10 めざせ！ タイムマスター 	11 協力！ タイムマスター 
13 協力！ タイムマスター 	14 協力！ タイムマスター 	15 工作 	16 これってどんな仕事？  （先生）	17 これってどんな仕事？  （イラストレーター）	18 これってどんな仕事？  （プログラマー）
20 これってどんな仕事？  （飼育員）	21 これってどんな仕事？  （調理師）	22 これってどんな仕事？  （プログラマー）	23 勤労感謝の日 	24 ピッコロで やりたいこと （クッキング編）	25 ピッコロで やりたいこと （クッキング編）
27 ピッコロで やりたいこと （クッキング編）	28 ピッコロで やりたいこと （クッキング編）	29 ピッコロで やりたいこと （クッキング編）	30 ピッコロで やりたいこと （クッキング編）		

（今月の主な活動）

《時間について》時間を守る大切さやなぜ時間が決められているのかについて考え、ゲームを取り入れながら時間について楽しく学びます。

《仕事について》さまざまな仕事について知り、多くの大人に支えられて生活している感謝の気持ちを育みます。

《ピッコロでやりたいこと》ピッコロでやりたいことについて、子どもたちから意見の出た『クッキング』で、お菓子作り（中学生は、ボードゲームと馬との触れ合い）を行います。

★専門職の来所日は下記になります。

- ・公認心理師(松本)：10日(金)、11日(土)、21日(火)、29日(水)
- ・言語聴覚士(永山)：7日(火)～9日(木)、13日(月)～15日(水)、24日(金)、25日(土)
- ・理学療法士(樋口)：17日(金)、18日(土)、27日(月)、28日(火)
- ・作業療法士(大平)：6日(月)、20日(月)、22日(水)、30日(木)



★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しく下さい。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日（午前）10 時 20 分まで、（午後）13 時 50 分までをお願いします。
- ・おやつは、平日 15 時 15 分～15 時 30 分、土曜日（午前）10 時 30 分、（午後）15 時に提供いたします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日（午前）11 時 50 分～12 時 10 分の間、（午後）15 時 20 分～15 時 40 分の間をお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引き継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。



みなさん、こんにちは。深まりつつある秋を、みなさんはどのようにしてお過ごしでしょうか。今回は子どもの「聞く力」の発達についてお知らせしたいと思います。子どもの聞く、見るといった感覚は生まれた時には未熟で、身体と同じように少しずつ育っていくものです。また「聞く」とは単純に音が聞こえるだけでなく、何の音かがわかる、ことばを聞き分けることができるなどいくつかの側面があり、音が聞こえればことばを聞き取ることができるというわけでもないのです。生まれてすぐの子どもはまだ小さな音は聞き取れず、4 ヶ月を過ぎる頃に保護者の声に振り向いたり、周囲の音に関心を示したりするようになり、生後 6 ヶ月くらいから生活している国のことばを聞くための耳、脳がつくられていきます。聴力は 4 歳頃に大人と同じくらいになりますが、最初は一つのまとまりとして聞いていたことばを、「い・ぬ」「り・ん・ご」と一つずつの音に分解したり、ことばの中から「い」や「ん」などの音を取り出したりできるようになるのはだいたい 4 歳半以降です。

このように子どもの「聞く力」はゆっくりと育ちますので、途中で、「し」と「ひ」、「そ」と「と」など似た音を聞き間違ったり、持っていることばの数が少ないので、はじめて聞いたことばを自分の知っていることばと聞き誤ったりもします（例：しょうじき→「そうじき？」）。そこで大人は、ゆっくりとした話し方、はっきりとした話し方を心がけ、口元の動きが見やすいように顔をあわせることを意識しましょう。周囲の雑音と自分（子ども）に向けられたことばを区別して聞き取れるように、子どもと会話をする時には静かな環境で話す機会を作ることも大切です。一度にたくさんのことばや長いことばを聞き取ったり、覚えたりすることが難しい場合には、短く区切って伝えたり、意味の切れ目で少し間を開けたりするのも良いでしょう。小学生でもこのような対応が必要なお子さんは意外に多いと感じています。



ただしこのような対応をしても、時々、ことばの発達に課題のある子どもさんの中に、軽度の聴力の障害が隠れている場合や、「聞こえている」のに「聞き取れない」「聞き間違いが多い」という子どもさんもいます。歯医者や眼科と同じように耳鼻科も気軽に活用して子どもの聞く力を育てることに役立てましょう。

秋の夜長、子どもさんと一緒に秋の小さな虫の声に耳を澄ませてみませんか。

言語聴覚士

永山理香



児童発達支援センター歩路だより

「偏食の対応」

毎日のご飯作り、お疲れさまです。保護者の方から「食べてくれない」「好き嫌が多い」などのご相談を受けることがあります。歩路で実際に実践している食事支援をご紹介します。

実践例 1) 段階を踏む。

唇につけてみる→舐める→口の中に入れる→徐々に量や食材を増やす。

実践例 2) 好きな食べ物を活かす。

①好きな食べ物→苦手な食べ物（極少量）…交互に提供する。

②好きな食材と苦手な食材（極少量）を一緒に口に運ぶ。

※好きな食材で満腹になると、苦手な食材には挑戦しにくくなります。

その他) 食事環境、食事状況を見直しましょう。

- ・椅子や机の高さは合っていますか？
- ・食わず嫌いがパターン化されていませんか？
- ・大人と一緒に楽しい雰囲気の中で食事を摂りましょう。

現代はファストフード、冷凍食品など、便利なものが増えていますが、季節の食材や健康的でバランスのとれた和食を上手に取り入れながら、新たな食材に触れる機会を設けたり、おじいちゃん、おばあちゃんの知恵を聞いてみたりしてはいかがでしょうか。

